

第4回定例総会を開催 〜平成28年度の活動方針等を決定〜

鶴岡市農業委員会第4回定例総会が4月28日、出羽庄内国際村ホールを会場に開催されました。

総会では、今年度の委員会活動方針を含む4件の議案が上程され、慎重審議の結果、全て原案どおり可決されました。

鶴岡市農業委員会第4回定例総会は、鶴岡市副市長、農林水産部長、農林水産部参事兼農山漁村振興課長、農政課長、農政課主幹を来賓に迎え開催され、鶴岡市



議長を務める三浦会長

農業委員会の「活動方針」と、「建議・要望書」を慎重審議のうえ可決しました。今総会に提案されました議案は以下のとおりです。

- 平成28年度鶴岡市農業委員会活動方針
- 農地の受け手への支援に関する要望書（農林水産大臣あて）
- 日本の食料安全保障に関する建議書（農林水産大臣あて）
- 鶴岡を世界に売り込むための要望書（鶴岡市長あて）



総会終了後は全員協議会が行われ、研修として農林水産部参事、農政課長を講師に、農林水産部における本年度施策の考え方や、主要事業等について理解を深めました。

また、引き続き農業振興・担い手、営農、食育・地産地消の各専門委員会が開催され、今後の活動計画等について話し合いが行われました。

なお、活動方針や建議・要望書は農業委員会のホームページでご覧いただけます。



榎本市長へ 要望書を提出

5月17日に三浦伸一会長、渡部長和会長職務代理者、石川守東部農地部会長、今野喜好西部農地部会長、伊藤治一農業振興部会長が榎本政規市長を訪れ、本総会において議決された要望の趣旨等を説明しながら提出しました。

榎本市長からは、「鶴岡にはただちや豆やメロンなど誇れる食材がある。今後積極的にPRしていきたい。」とのお話がありました。

農業委員会では、地域農業を守り、農業者の皆さんが意欲と希望を持って農業に取り組める環境を実現するため、今後も農業の現場における生の声を市及び国・県等の関係機関へ伝えていきます。

